

V 有効性や効率性の向上の可能性があると判断した事務事業⇒ ② 臨時的任用職員等の活用

整理 No.	課名	事業 CD	事務事業名	区分	V-②臨時的任用職員等の活用		評価調整委員会判断	
					⑤-2理由	⑤-3課題	区分	理由
1	納税課	3 0 7 4	市税徴収 管理事業	有効性 向上	臨時的任用職員などで電話催 告や訪問徴収を行うことにより、 有効性を向上させられる。	ない	推進	臨時的任用職員で可 能なことを整理し、可 能なことであれば推 進すべき。
2	市民税課	3 0 7 2	市民税総 務事業	有効性 向上	臨時職員に大量の単純作業を 割り振り、正規職員はより精度 の高い賦課事務に従事すること で、公平で明確な課税の実施。	ある	推進	業務量の増加に対応 した臨時職員の確保 及び臨時職員によっ て可能な業務を整理 し、人件費の節減を 図るべき。
3	資産税課	3 0 7 3	資産税総 務事業	効率性 向上	すでに活用している臨時的任用 職員の事務分担範囲をより拡大 し、コスト削減による効率性の向 上が考えられる。	ある	推進	臨時職員によって可 能な業務を整理し、 人件費の節減を図る べき。
4	資産税課	3 0 7 9	資産税賦 課事業	効率性 向上	臨時的任用職員の事務分担範 囲を拡大することにより、業務の 効率化、コスト削減が考えられ る。	ある	推進	臨時職員によって可 能な業務を整理し、 人件費の節減を図る べき。
5	元気子ど も課	4 0 9 4	乳幼児医 療費助成 事業	効率性 向上	平成20年4月診療分から、新た に小学校就学～中学校修了前 の入院に関しても助成対象と なったことで事務作業の増加が 見込まれるが、その中での単純 作業部分を臨時職員に担わせる ことで人件費の削減を図る。 また、そうした臨時職員と正規 職員との連携を強化することで 事務作業だけでなく、拡大後の 事業全体のサービスの向上も見 込まれる。	ある	推進	臨時的任用職員で可 能なことを整理し、可 能なことであれば推 進すべき。
6	指導課	3 3 8 8	特別支援 教育振興 事業	両方可 能性が ある	通常の学級に在籍する発達障 害を持つ児童生徒への対応の ために、支援のための人員を配 置することにより、所期の目的に 近づくことができると考える。	ある	推進	通常の学級に在籍す る発達障害を持つ児 童生徒への対応のた め推進すべき。
7	指導課	3 5 3 6	適応支援 センター運 営事業	有効性 向上	訪問相談員による在宅児童生 徒に対する訪問相談や通所す る児童生徒の集団活動の支援 を行うことにより、児童生徒の社 会性の向上を図る。	ある	推進	課題を解決し、訪問 相談員の活用が可能 であれば増員すべ き。

整理 No.	課名	事業 CD	事務事業名	区分	V-②臨時的任用職員等の活用		評価調整委員会判断	
					⑤-2理由	⑤-3課題	区分	理由
8	消防総務課	3358	総務管理事業	両方可可能性がある	上級研修機関における幹部研修の受講及び救急救命士の資格取得を隔年ごとに継続して行うことや、資格者の採用により組織内の充実・強化を図り、市民の安全を確保することができる。また、再任用職員に業務の一部を対応してもらうことで経費の削減が可能となる。	ある 継続的な再任用職員の確保。	推進	組織内の充実・強化のため必要な職員の採用及び再任用職員の継続的な活用を図るべき。
9	消防総務課	3366	消防団運営管理事業	効率性向上	再任用職員を採用し、業務の一部を対応してもらうことによって経費削減が可能となる。	ある 継続的な再任用職員の確保。	推進	組織内の充実・強化のため必要な職員の採用及び再任用職員の継続的な活用を図るべき。